

第 1 回 総 合 教 育 会 議

平成 3 1 年 1 月 3 1 日 (水)

第 1 回 岬 町 総 合 教 育 会 議

日 時 平成31年1月31日(水) 午前10時00分開会—午後 0時02分閉会
場 所 役場3階 第2委員会室

出席委員 笠間教育長、宮川教育委員、奥野教育委員、中口教育委員、出射教育委員

出席理事者 田代町長、澤教育次長、増田学校教育課長、保田指導課参事、
北野指導課参事、小川生涯学習課長、西総務部長、寺田企画地方創生課長、
新保企画地方創生課主幹、本川企画地方創生課員

案 件

(1) 岬町教育大綱の推進(主な成果と課題)について

(2) ~ (5)

※岬町総合教育会議設置要綱第6条に基づき、個人の秘密を保つため必要があると認められることから非公開、同7条に基づき議事録の一部を公表しない。

配付資料

資料1 岬町教育大綱の推進(主な成果と課題)について

(午前10時00分 開会)

寺田企画地方創生課長 平成30年度第1回岬町総合教育会議を始めさせていただきます。

私は、本日、司会を務めさせていただきます、企画地方創生課課長の寺田でございます。よろしく願いいたします。

済みませんが、座らせていただきます。

初めに資料を確認させていただきます。

前の机に置いております次第がA4の1枚、それとカラーで教育大綱の推進についてということでホッチキスどめをしている資料がございます。後ほど、前方のスクリーンに映させていただきますので、参考に見ながら、見ていただければなと思っております。

不足等はございませんでしょうか。

それでは、初めに、町長より御挨拶を申し上げます。

田代町長 皆さん、おはようございます。岬町長の田代でございます。

本日は平成30年度第1回岬町総合教育会議に御出席をいただき、まことにありがとうございます。

また、笠間教育長を初め、教育委員の皆様方には、平素から本町の教育の充実、発展のため、多大な御尽力を賜っておりますことを心から厚く御礼を申し上げます。

さて、この総合教育会議も今年度で設置してから4年目を迎えます。

本町におきましても教育委員会がうまく教育現場と連携をとりながら子供たちが第一となるような教育を進めていただいているということで大変ありがたく思っているところでございます。

会議を重ねるごとに教育委員と町長がオープンな意見交換を行う場として、非常に有意義なものであると感じております。

本年も引き続き、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、教育部局と連携の強化を図りながら、総合教育会議を運営してまいりたいと考えております。

本町の将来を担う大切な児童・生徒の皆さんが、一人一人の持つ力を十分発揮し、豊かな心と生きていく力を身につけられるよう、実りの多い会議となることを祈念するとともに、教育委員の皆様方の多様な視点から、教育に対する活発な意見をいただけますよう重ねてお願い申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしく願いいたします。どうもありがとうございました。

寺田企画地方創生課長 ありがとうございました。

次に、笠間教育長より御挨拶をお願いしたと思います。

笠間教育長 皆さん、おはようございます。

平成31年に入りまして、はやもう1カ月が過ぎようとしております。本当に月日のたつというのは、時間の経過というのは早いものだなというふうに、また改めて思うところでございます。

先日から教育委員の皆様方におかれましては、町村の教育委員研修、寒い中出席いただきました。そして、定例教育委員会、また岬町成人祭、また協働の集いというようなことで、いろんな場面に出席いただきまして本当に感謝いたしております。お忙しい中、いつもありがとうございます。

きょうは、町長主催のもと平成27年度からスタートいたしました総合教育会議、回数にしたら4回目ではございません。1回、2回やった年がございまして、第5回目になるというふうに思います。

今日のテーマは、岬町教育大綱を続けて議論を進めると、進捗状況、どこまで進んでるんだということを、きょうはパワーポイントを見ていただきながら進めていきたいなというふうに思うところでございます。

また、御承知のように岬町の総合計画の中では、前にもお話したこともあると思いますが、親も子も輝く、これはキャッチフレーズで未来を担う子供たちを中心とした考えを示してるところでございます。

いろいろな視点で分析を行いまして今までの経過を岬町教育大綱、先ほど言いましたようにどれだけ進んでいるのかというのをもう一度見ていただくということでございます。パワーポイントでわかりやすく保田指導主事のほうから説明いただくことになっております。よろしくをお願いいたしたいと思います。

また、本当に数字も出てきます。いろいろと個人情報的なものも出ますので、皆さん方の中できちんと処理をいただくようお願いしたいと思います。

岬町は、弱みを強みに変えるぐらいの意気込みを持っております。その方法をきょうは提言いたしまして、本日の会議は進めていく、それがうまくいけば成功であるかなと思います。

どうか、子供たちがすばらしい未来に向かって体感できるように、我々が責任を持って胸を張って導いていけますように考えるばかりでございます。

きょうは本当に、早朝より皆様方、寒い中ありがとうございます。どうぞ進行に御協力

いただきますようよろしくお願いいたします。

町長のほうもよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

寺田企画地方創生課長 ありがとうございます。本総合教育会議については、岬町総合教育会議設置要綱の規定により、町長が招集し、総合教育会議の議長となることとなっております。以降の会議の進行につきましては、議長の田代町長にお願いをいたします。

それでは、よろしくお願いいたします。

田代町長 それでは、会議を進めてまいります。

案件に入る前に会議の公開について、確認をいたします。

会議については、要綱第6条の規定に基づき、個人の秘密を保つため必要があると認めるとき、その他公益上必要があると認めるとき以外は、公開となります。

本日の案件については、一部、非公開とする案件がございます。非公開部分については、傍聴者の入室は認めませんので退室いただくこととなります。

よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

田代町長 ありがとうございます。

事務局に確認いたします。

本日の傍聴希望の状況について報告をお願いいたします。

寺田企画地方創生課長 本日の会議には、傍聴の申し込みは行われておりませんので、このまま会議を進行させていただきます。

よろしくお願いいたします。

田代町長 それでは、会議を進めさせていただきます。

案件1、岬町教育大綱の推進（主な成果と課題）について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局、どうぞ。

保田指導課参事 失礼します。指導課保田です。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、教育大綱の推進について、報告させていただきます。

今年度の主な成果と課題です。たくさんあるんですけども、ことしの特徴としましての内容について御報告させていただきます。

まず、今後の教育の流れにつきまして、説明させていただきます。

昨年度も同じようなお話をさせていただきましたが、新学習指導要領の実施に向けてということで、小学校につきましては、今年度より道徳の教科が実施されています。平成31年度からは、引き続き今度は中学校の道徳が教科として実施されていきます。また、平成32年度、2020年です。オリンピックイヤーの年には、小学校の新学習指導要領の改訂があり、全面実施となっていきます。

今回の新学習指導要領の大きな内容としましては、小学校につきましては3、4年生が外国語活動、5年生、6年生が外国語科として教科化されていきます。全面実施につきましては、2020年度、来年度、再来年度ですね。32年度からになります。今年度は移行期間としまして先行実施をしております。

まず、外国語が3年生より、もう現在スタートしている状況で、各小学校におきましては、外国語の授業が入ってきています。また、中学校につきましては、平成33年度、2021年度より全面実施となります。

後で、また説明させていただきますが、大きな流れとしましては、主体的・対話的で深い学び、アクティブラーニングという言葉が、ここ数年出てきておりますが、子供たちの対話を通して深い学びをしていく、今までは一方的に先生が説明をするというような授業が多かったですけれども、これからは、子供たち同士で会話をし対話をし、そこで議論をしながら学力を伸ばしていくというような教育が進められていきます。

こちらは、先ほど説明させていただきました全面実施に向けたスケジュールの表となっております。

もう今は、現在30年度になっています。来年度、31年度からは、教科書採択も入ってきます。ここ数年の間で大きく教育が変わっていくという流れになっています。

それに向けまして、各学校では、今現在、教員の研修を深めています。各小学校、各中学校におきまして教員が研修を深めています。指導官のほうも、その指導助言のほうに参って先生方の授業力向上のためにいろいろ指導助言させてもらっています。

また、岬町にとりましては、子供たち、保育所、幼稚園から小・中ということで、子供の学びをしっかりと長期間にわたって見ていくというところで、連携事業、連携を深めていくような取り組みも考えております。

この写真は、小学校の授業の様子です。ちょうど研究授業がありまして、たくさんの先生方がこの授業のほうに参加をされています。子供たちが前に出て発表している場面であったりとか、机をひっつけています。子供たちが対話を重ねていく、自分たちが主体とな

って授業をつくっていくというような授業づくりが今後も展開されてきています。岬町の子供たちにつきましても、よそのほかの市町村の子供たちと同じような授業スタイルでどんどん先生たち検証を深めてくださっています。

そのために、授業の中で少人数指導といいます、子供たちを少し半分に分けましてきめ細やかな指導をしている授業の場面です。先ほどから何度もお話をさせていただいておりますが、班学習、グループ学習を深めて対話的な授業を進めてまいっています。

こちらのグラフにつきましては、全国学力学習状況調査から見た岬町の小学校の子供たち、学力の推移のグラフであります。全国学力学習状況調査が平成20年度からスタートしています。今年度で10年間このテストが実施されているんですけども、その状況になります。

真ん中の赤い線につきましては、これは大阪府平均の線になるんですけども、今年度、小学校につきましては国語、算数のA問題、基礎的な学力ですね。この辺につきましては、全国平均を上回っております。反対にB問題、活用力につきましては少し下がっていますので、この辺の課題が、今後の授業に反映していく必要があるのではないかというふうに考えてられています。

続いて、中学校になります。中学校につきましては、今年度、平成30年度につきましては、大阪府平均、全ての教科におきまして上回っております。

続いて、地域のボランティアのサポートということで、生涯学習課から報告、お願いいたします。

小川生涯学習課長 生涯学習課の小川でございます。私のほうからは、地域のボランティアサポートについて、御報告をさせていただきます。

今、画像にありますのは、子ども安全デーの取り組みでございまして、子供が安全に登校できる環境づくりといたしまして、平成15年より子供の見守り活動を展開しておりますが、現在のボランティア数は淡輪地区で50名、深日地区で24名、多奈川地区で21名ということで、昨年よりも若干でありますが増加傾向にあります。また、毎月8日に実施しております子ども安全デーの取り組みにつきましては、町長並びに教育長、そして各種団体の御協力をいただきまして現在も継続した取り組みになっております。

今後ともこの活動を広く周知することで、ボランティアの登録数の増加に向けて継続した取り組みを展開していきたいというふうに思います。

続きまして、写真にございますのは橋逸勢の書道教室の様と、そして特殊メイクの授

業でございます。これにつきましては、地域教育協議会並びに岬ライオンズクラブと連携をとった事業でございます。地域教育協議会につきましては、本町の地域教育コミュニティの活性化を目的といたしまして、平成12年に発足をしまして、ことしで18年を経過をしております。

これまで、子育て、親学び、そして体験学習などの展開をしてきましたが、平成29年度よりも組織のスリム化を図りまして効果的な取り組みを実施しております。特に具体的な活動としましては、メイクアップの授業に見るように、深日小学校で昨年の2月の15日に授業参観の全てをボランティアで実施をいたしました。この取り組みは、子供たちへの新たな学習機会づくりの提供はもとより、保護者も見学するだけでなく一緒に体験することによってコミュニティ性の高い事業が展開ができて、生涯学習課的には非常に大きな成果を上げてございます。

平成30年度は、この2月の15日、同じく15日ですが、深日小学校においてこの出前授業を展開する、それで2月に入りましては、各小学校においてこの書道教室も展開する予定になってございます。

続きまして、洲本市との地域間交流でございます。昨年の7月より運行を再開しております深日洲本ライナーを活用いたしまして、本年度より本町と洲本市間の中で地域間交流を実施をいたしました。

まず、文化面では、岬町から昨年の10月の14日に洲本市で開催をされました第1回洲本市民芸術祭に岬町の文化協会のほうから出演をいたしました。洲本市からは、昨年の10月27日に文化祭の開会式の第2部で洲本市からフラダンスチームが御出演をいただきました。

スポーツ面におきましては、昨年の12月の8日に岬ファミリーマラソンの開催しまして、親子の部で洲本市のほうから家族で御参加をいただきました。

連携につきましては、以上です。

保田指導課参事 続きまして、先ほどの地域とつながるところと連携していくんですけども、今度は、各小学校、特に小規模校の深日小学校、多奈川小学校が地域とつながっている様子を報告させていただきます。

今まで多奈川小学校につきましては、地域の小学校、多くの地域の方と交流をする場面を紹介させていただきましたが、あわせて深日小学校につきましても今年度たくさんの地域の方に協力いただきまして、事業展開をしてみたいです。

左上の写真になるんですけども、これは深日小学校のグラウンドでグラウンドゴルフをしています。同じように多奈川小学校につきましても数年前からグラウンドゴルフをして授業中です。地域の方と一緒に授業をしていくという場面が多くみられるようになりました。

潮干狩りです。潮干狩りにつきましても協力をいただきまして、毎年、潮干狩りが実施できるようになっております。この真ん中の写真なんですけれども、これは稲刈りの様子です。各小学校におきまして、町内の畑をお借りするなどして、稲刈り、田植えをしている様子になります。ことしは、深日小学校につきましても、全学年の子供たちが参加をして稲刈りをしました。それをもとに地域の方に来ていただきまして手ごねずしを、手まりずしですね。おすしをつくって皆さんと交流するという形になっております。保育所も併設されております。保育所の子供たちと小学生がつながる。小学校が地域の方とつながる。こういう展開がことしはすごく充実していた年になっております。

これに合わせて食育のほうも進めてまいります。子供たちが自分たちでつくったお米をつくって、おすしをつくって食べるというような食育の授業も栄養教諭を中心に展開していただいております。安全安心でおいしい給食の提供・食育の促進ということで、岬町の地元の食材を使ったメニューを取り入れながら、子供たちにしっかりとおいしい給食を提供し、体と心を育てると、そのような教育を今後も進めてまいりたいと思っております。

また、つながるといふところでは、岬町の子供たち、大学とつながるといふところが大きいかと思われまます。ここ数年、府立大学の留学生との交流会が行われております。これにつきましても小規模校、深日小学校、多奈川小学校に協力をいただきまして交流会を実施しております。留学生と一緒に授業体験ですね。この右のほうでは、書道の体験をしています。一緒に給食を食べたり休み時間遊んだりというような交流を深めています。昨年度からは、ホームステイも取り入れておりまして、すごく好評な交流会となっております。

合わせて、大学とつながるといふところで、和歌山大学との連携事業が大きな役割を果たしております。特に、子供の体力の向上ということで、もう4年ほど前からこの和歌山大学の本山教授を中心に、子供たちの体力づくりサポート事業を行ってまいっています。子供たちの体力が課題になっている中で、いろいろサポートをいただきまして大学と学校が連携をして新しい授業づくり、子供たちの体力を向上するための事業を展開しています。

その結果もありまして、このグラフにつきましても、過去4年間の子供たちの体力テ

ストの推移なんですけれども、スタートしたのが平成27年です。平成27年度の子供たちのこの黒の線が子供たちの総合得点なんですけれども、ことし平成30年度、この54.8まで小学校5年生の男子は伸びています。あわせて6年生につきましても61.47という総合得点を獲得し、高評価を出している状態になります。中学校につきましても今まで大阪府平均を下回っておりましたが、今年度につきましては全国平均、男女ともに上回る結果となっております。これにつきましては、また後で報告させていただきます。

はい。今年度につきましては、全国学力学習状況調査の中で理科のテストもございました。その中で、子供たちのアンケートの中には、岬町の理科の授業が好きであるとか、実験を多くしているとか、自然豊かな環境のもとで授業ができているというところが、子供たちの中で全国平均を上回るというところにつながっています。理科の結果につきましても大阪平均、全国平均を上回る結果も出てきております。岬町の自然豊かな環境のもとで、子供たちが理科を中心に学んでいくというところは大きな利点であります。

今後とも引き続き、外での、野外での環境、野外での授業づくりというところをしっかりとまた展開していきたいというふうに考えております。

続いてですけれども、施設の充実というところでは、

この夏よりエアコンが全面稼働しました。今まで教室の室温が30度を超えるような日が続いている中で、ことしのエアコンの設置というのは非常に子供たち快適な生活を過ごす、学習環境が整っているというところで進められています。

この写真は、淡輪小学校の写真になります。後ろからエアコンが、風が出るというところで、教室全部に冷たい風が行き渡るという様子です。子供たちが夏の中でも快適に学習に集中して学べる環境ができているということになっております。

この下の写真になるんですけども、これは小学校の職員室です。中学校にも同じようなものがありますが、一括管理できるようになっております。温度のほうもこのパネルを見て管理できるということで、しっかりとどこの教室にも同じような環境でできるようにセッティングされております。

あわせて、これも淡輪小学校になりますが、校庭の遊具を新調していただきました。ブランコ、それと登り棒です。ブランコにつきましては、非常に好評でして、もう休み時間になると子供たちが殺到して順番待ちのような状況になっております。

遊具につきましては、安全面もしっかりと管理をしていく必要があるんですけども、学校のほうでしっかりとこの遊具の使い方についてルールを決めて安全に使用できるとい

うことで、子供たちがやはり外に出て体を動かすという意味では、この遊具の有効性が大きいのかなというふうに感じております。

以上で、報告を終わらせていただきます。

田代町長 ありがとうございました。

ただいまの事務局の説明に対し御意見、御質問ございませんでしょうか。

宮川委員。

宮川教育委員 今、働き改革とかそういうことで府教委とか文科省が言ってるんですけども、部活動の指導員、これを導入していけということ、今後、中学校においてどういうふうな方向性を持っていくのかということと、もう一点、さっき見させていただきましたけど、子供の体力向上ということで、深日小学校とか多奈川小学校でもやってるということ、先日、研修会で和歌山の本山先生からお話伺いまして、それで体力が向上して文科省からも表彰されるようになったということなんですけども、これについて体力向上における学力も上がってきたという要因があるみたいなんですけども、その辺について、ちょっと指導課か教育長にお尋ねしたいんですけども、今後、どのようにお考えなのかお答えしていただきたいと思います。

田代町長 笠間教育長。

笠間教育長 はい。もちろん今の体力向上のことにつきましては、非常に誇らしい。これ4年目になりますけれども毎年どんどん成績が上がってる。去年ちょっと下がったようでございますけれども、またことしも群を抜いて大阪府でトップやというようなことで非常に誇らしいところでございます。

これは、もちろん和歌山大学の教育が中心でございますけれども、先生方のスポーツテレストとかそういうことの取り組みに対しての姿勢、これが非常に前向きであると、準備をしながらやると、これが学力にもつながっていくというふうに考えてるところでございます。

そして、今、言われましたクラブ活動の補助員、この関係につきましては、大阪府のほうでもガイドライン出ております。まだ、今の段階では、もう一つ文化活動に対してもそういう働き方改革、1年中通じて休日を設ける、時間を設けていくというようなことで進んでるわけでございますけれども、いずれにしても町のほうでバックアップしていかなければならない。大阪府のほうでは、何校かがモデル校として進んでるようでございます。文科省のほうも今のところまだ全部の学校へ行き渡ってないという状況でございますけれ

ども、ぜひとも手を挙げながら、また一番中学校のクラブ活動につきましては、なかなか困難なのが学校へ部外者というんですか、指導員が入っていくことに対する、そこらも学校との調整を進めながら、また理解を得ていくというようなことを準備していかなければならないなというふうに思います。

そして、先ほどの説明の中で私、保田参事のことを言いましたけども、生涯学習関係のことは、生涯学習課の小川課長からの説明というのが、抜けておりましたので、おわびいたしたいと思います。この場をかりまして、申しわけございませんでした。どうぞよろしくをお願いします。

田代町長 教育次長。

澤教育次長 ちょっと追加で説明させていただきます。

先ほどの部活動指導員の導入についてですけども、大阪府のほうでも既にガイドラインが示されております。直近の定例教育会議で近々岬町のガイドライン、いわゆる基本方針についても委員さんの皆様に示させていただきたいというふうに思っております。その後、次、人材の確保という段階になってくるんですけども、こちらについては、元先生、教諭とか外部指導員経験者とかいうことでいくつか条件がありますので、そういうものも踏まえながらできるだけ早いうちに外部部活指導員の導入に向けて取り組んでいきたいというふうに考えております。

あと、子供の体力向上についてですけども、先ほども保田参事のほうからスライドありましたけども、平成30年速報値でも、大阪府下で一応トップというような状況になっております。これにつきましては、また小学校女子60点という数字あるんですけども、これ本山教授も先日おっしゃってましたけども60点超えるとかかなりの数字、レベルに達しているということで、引き続き体力の向上に取り組んでいきたいというふうに考えております。

以上です。

田代町長 ほかにございませんか。

宮川委員。

宮川教育委員 部活動の分なんですけど、これ今、教育委員会で決めるという話なんですけども、中学校のほうと相談してこういう原案を出してすり合わせというのはやる予定があるんでしょうか。

田代町長 教育次長。

澤教育次長 こちらにつきましては、議会のほうで一般質問でもあったんですけども、学校及び地域のクラブ活動関係者と合わせまして導入に向けて進めていきたいというふうに答えております。

以上です。

田代町長 教育次長に私のほうからお尋ねします。先程、宮川委員から学力の向上と体力の向上の2つのお話がありましたが、保護者会議でこういった問題が出たかのように聞いております。いわば、体力をつけるための授業が多いために数学の学力が落ちてきている趣旨の質問があったかのように保護者会で聞いたのですが、これについて、事務局としてはどういう見解を持ってるか教えていただきたいのですが。

澤教育次長 確かにそのような御意見があったというふうには聞いております。ただ、学校現場を調査させていただきましても、その時期につきましては、おっしゃってます時期につきましては、運動会とかの近い時期でありまして、少し体育の時間がふえてたというのは事実なんですけども、それに伴ってほかの科目の時間が減っていたということはないというふうに確認しております。ただ、学力につきましては、若干落ちてる部分があるかわかりませんが、その部分については、引き続き学力向上について取り組んでいきたいというふうに考えております。

田代町長 学力は落ちてないということですか。

田代町長 体力向上に多くの時間が割かれ、教える時間が少なくなったため肝心の学力が、落ちていっているようなことはないですね。

澤教育次長 はい、ありません。

田代町長 そういう確認だけさせてもらいました。

はい。ほかにございませんか。

中口委員。

中口教育委員 教育委員の中口です。よろしく申し上げます。

今、お話にあった中で給食についてのお話があったと思うんですけども、岬町は、学校の近くに給食センターがあって安心で安全で温かいものは温かく、冷たいものは冷たくおいしい給食を提供してくださってると思います。そんな中で、中学校のときにPTAの役員をやっておりまして、給食献立の給食センターで集まる委員会がありまして、その中で栄養士の先生や給食センターの方と、あと保護者の方との話し合いなんかにも参加したことがあります。また、定例教育委員会でも給食センターで行うことがありまして、そんな

中で栄養士の先生や調理人の方々からお話を伺ったときに、ここ数年間なかなか材料費が値上がりなどもありまして、給食に栄養として基準値の栄養を満たす給食をいろいろ工夫や努力をして提供をしてくださってるんですけども、だんだん不足がちになってしまっているというお話を聞いたことがあります。それを補うために本当にいろんな工夫や努力をしていると聞いておりますが、やはりこの日だけはちょっと寂しい給食になってしまったりとか、なかなか今までだったら行事のときにもう一品行事にまつわる給食の1品があったのが、ここ何年間かちょっとそれができなくなってしまってるのかというお話を聞いたことがあります。栄養素の面で不足なくおいしい給食を提供するために、今後、給食費の値上げなども検討していく時期なんではないかなと、私としては思っています。

今後、消費税の値上がりなどもありまして、それが関係するかわかりませんが、栄養素をなるべく基準値の分与えてあげられる給食を提供していただけるように、今後、そういった話も検討していただければと思います。

田代町長 今回の意見に対して事務局の説明をお願いします。笠間教育長。

笠間教育長 確におっしゃいますとおり現在、給食センターでは限られた予算の中で、献立等、栄養教諭の力を得まして日々献立を考えていただいているところでございます。

給食費につきましては、もう10年以上、ほぼ10年ぐらい値上げせずにそのまま推移してきているところです。今年の10月ですね。消費税も増税が予定されているということですが、現時点では給食費を値上げするか据え置くかということ、まだ答えが出ていないんですけども、今後、賄い材料費とかの値上げの動向とかも見た中で、また相談、検討をしていきたいなというふうに思っております。

以上です。

田代町長 今後検討していくということですが、子供たちの栄養について、賄い材料の予算がなくて節約してる中でやっていると、今初めて聞かせてもらいました。それが事実とするならば商工会との関係もあると思うので、商工会のほうにどういうメニューでどういう材料を使っているのか。また、予算の範囲はどうなっているのか。地元産、いわば地産地消を使っていくというのが基本になっていると思いますが、その辺りは商工会との連携はとっているのですか。

澤教育次長 まだ、この消費税増税に向けての連携というのは、まだ今のところっておりません。

田代町長 消費税増税ではなくて、実際、賄い材料の予算が少ないからどうしても節約せざるを得ないということを栄養士さんはおっしゃってるのではないのでしょうか。

私を知る限り、多奈川小学校の給食センターに用事があるときに行って栄養士さんとも話をさせてもらいますが、小学校については問題なくきちっと栄養を確保し、ちゃんとカロリー計算もしているから問題ありませんとは聞いています。中学校のことをおっしゃってるんですか。

中口教育委員 小中全部合わせたことでございます。

田代町長 小学校は、栄養士さんともお話させてもらう中で問題ないと聞いていますが、今のようなご意見が出るということは、そういう問題があるのでないかということ进行调查する必要がありますのではないのでしょうか。検討ではなく調査をして、委員のおっしゃるような状況があるのであれば、改善していくという方向でいかなければと思います。教育長。

笠間教育長 今の給食の件で中口委員のほうから意見いただいたことは、本当にありがとうございます。

町長部局とは、常に懸案事項の中でこの給食費のことは検討いたしております。10年間以上まだ上げてないという状況と、先日、私も試食に行っていました。定例の教育委員会、現場で試食したときに、650カロリーですか。これは、栄養士のほうも説明しておりましたけども、町長、今、小学校はまだ大丈夫やと言うんですけども、本当は600ちょっと超えたぐらいの状況でございまして、何とか650に文科省の基準である650にカロリーを持っていきたいというふうに思いもございまして、私のほうは、町長のほうへはできたら少しでも値上げとかいろんなこともこれから検討いただきたいなというふうに思いますし、現実には消費税が上がってくる。いろんなことが、商工会とは十分話してるわけですが、やっぱり燃料とかそれ以外のものが上がると。軽減税率の部分も聞いております。ただ、私もそういうことを言いましたけども、現実には燃料費、運搬費、いろんなことで経費が上がってるようではございますので、町のほうで、例えば値上げが無理であれば、一遍、町のほうでそういう単費が出れば助けていただければというふうに思うところでございます。

よろしくお願ひします。

以上です。

田代町長 これは大事な問題なので、総務部長、予算要求されているかどうか、確認をお願いします。

西総務部長 その点、確認させていただきます。

田代町長 教育長は、町長部局に常に要望してきたということを言われています。そうであれば平

成31年度の予算編成の中に賄い材料に関する予算が要求されているのかということを確認するべきだと思います。私の記憶では、なかったように思います。予算要求が出てるとしたら、それは町長部局が検討しなければならない問題だと思うので、確認をとってほしいのですが。教育長は、都度、町長部局に予算要求してるかのように言われたので、後で結構ですので確認をしてくれませんか。

笠間教育長 ちょっとお願いします。

懸案事項として上げさせていただいておりますが、予算要求では私のほうは上げておりません。町長も理解いただいた上で、一緒に上げていこうという意見がなかったらなかなか予算要求という段階にはならないものがございます。予算要求の前の懸案事項の中でお話ししてるというふうな説明をしたつもりなんですけど、よろしくをお願いします。

田代町長 総務部長、懸案事項で出してるということなので、出ているのであれば、必ず予算要求として出てくるわけですね。懸案の問題で、毎回出しているのであれば、いつかは予算要求しなきゃならないわけで、その辺りはどうなのかということを確認したいと思います。

西総務部長 それと、先ほど教育長のほうから賄い材料費の中で光熱水費のお話ありましたが、間違っていたら申しわけないですが、給食制度については、光熱費、いわゆる調理に係る経費は町で負担しております。例えばガスが上がったとか人件費が上がったとか、そういうのは町で負担させていただいております。保護者の方に負担いただいているのは、材料、食材に係る部分ですので、材料が上がった場合の費用負担は保護者の方に負担していただくこととなります。ただ、食費が上がるというのは、保護者の方の負担も大きくなりますので、教育委員会で御検討いただくことになると考えております。

田代町長 値上げの問題が出てくるかどうか。それだけ確認してください。

確認させていただいた上で、そういった問題が提起されているのであれば、町長部局のほうで予算も何もつけてないということになると問題がありますので。

ほかにございますか。奥野委員。

奥野教育委員 教育委員の奥野です。よろしくをお願いします。

この間、先日も多奈川小学校のほうに学校視察に行かせていただきまして、ICTの教育についてなんですけども、大変進んだ教育をなさっていて、子供たちも画面に集中して、またきょう言われてみたいようなグループ学習のほうもできていて、次の教育指導要領に基づいたような学習がなされていたかなと思います。

やっぱり聞くとところによると、Wi-Fi環境が整っていなかったりだとか、情報活用

の能力の育成という視点から見ても、ICT教育をどんどんどんどん進めていただいて、子供たちがそういう授業にどんどん追いついていけるようにWi-Fi環境が整ってないと学校のほうで聞いたので、子供たちが岬町で、小さい小学校だったんですけれども、そういうのを見たときにもっともっと学ばせてあげたいなと思いましたので、ICTの面についての充実ですね。学習の道具として子供たちが、先生がまずパソコンをちゃんと持っていて子供たちもタブレットがあってみたいなものにつなげていけたらいいなと思いました。

はい、ぜひ検討をよろしく願いいたします。

田代町長 ほかにございませんでしょうか。

どうぞ。

出射教育委員 新しく教育委員になりました出射と申します。よろしくお願いします。

2点お願いしたいということなんですけども、1つは淡輪小学校なんですけども、パソコンのほうで今の授業の形態に、なかなかこれからの授業を進めていくのに形が古くてちょっと困るんやというお話を聞いていますので、そのところの改善をぜひあれだけの人数の学校を賄っていくのに大変だと思いますので、その点が1点。

それから、反対に多奈川小学校、深日小学校、ここは人数がかなり減ってきています。各学年で1桁というふうな学年もあります。聞くところによると多奈川小学校なんかは何年後かには1名しかいないというふうなことも考えられると。そういうふうなときに、どういうふうな学校の形態をとるのかということが問題になってくると思うんです。学年を潰さずにこのままいくという手もあるし、複式というふうなことも考えられますけども、関東のある自治体では、先生の数を確保するために文科省のあれじゃなくて、自治体で教師を雇ってそれで定数を守っていくと、少ない人数の学級数でやっているというようなことも聞いたことあるんですけども、岬町のほうではどういうふうにお考えなのかなと思ひまして。

田代町長 1点目、2点目については、私ではなく、教育長が答えるべき内容であると思いますが、パソコンの問題については、委員がおっしゃるとおり、31年度予算の中で十分議論をしております。ウインドウズXPが使えないということで、私なりにメーカーや関係者と話をした結果、どのようなプログラムを組んでも、今のXPでは対応はできない、インターネットも使えない、また使ったとしてもウイルスが入ってきて機能不全になってしまうというような状況が起きるであろうということを確認しました。今、使ってるパソコンを入

れ替える予定で、予算編成を行っております。各小学校の台数ですが、私の記憶では、淡輪小学校が32台で、パソコンルームで行うということで、聞いております。次に、深日小学校が22台で多奈川小学校が21台だったと記憶していますが、それを全て入れかえるということと、教員の方が使われるパソコンについては、1人1台という予算要求であったのですが、予算的に無理があるということで、2人で1台という形にして、予算を編成しております。これは、議会の議決を得なければならないので、はっきり言えないんですが、31年度の当初予算に計上する予定でありますので、御理解をいただきたいと思えます。

パソコンの件も3年前から予算要求が上がっていたのですが、まだ使えるということで、財政担当が判断をしていたようです。しかし、ここに来て私が調査した結果、非常に厳しいという判断をしましたので、きのう予算に計上するように指示をしております。

それから、少子化に伴う小規模校のあり方について、今後どのように考えているのかという点は教育長のほうから説明をお願いしたいと思います。

笠間教育長 今、御質問いただいております件と、プログラミング教育に向けて町長のほうが、またコンピューターのほうを頑張っていたということでございますので、平成31年度に新しい平成32年度の学習指導要領の完成に向けて、導入に向けて新しいコンピューターを入れていただけるということでございます。ありがとうございます。

そして今、少子化の問題で学校が1人の学年が出てくるというような危惧については、これはもう定例の教育委員会の中でも議論させていただかなあかんことだというふうに思っております。ただ、今、町長のほうも将来的のことは言うてませんけども、現在やはり各地域に1つの小学校が必要やと、これは学校が中心になって、地域が保たれてるんやと、それがなかったらどンドンどンドン僻地化してしまうんではないかということもございませう。ただ、将来的には、やっぱり小中一貫校とかそういうことも考えながら全部の学校を1つにするとかというのは、公式にはどこも出したことはございせんけども、今後、教育委員会を通じまして委員会の議論を通じまして、また考えていきたいというふうに思います。

宮川さん、私の顔を見ながら緊急やないかと、そんなんはゆっくりできることじゃないという顔をされてますけれども、とりあえず、やはり町長は地域の学校は必要やということでございますので、そこは中心に据えていきたい。複式学級のことも若干心配な部分もございませうけれども、町のほうでまだ教員を雇用できるというような余裕については、ち

よっと考えられないなというふうに思ってます。小規模校の加配等々を考えながら、大阪府教育委員会とも調整しながら要望しながらというふうな状況になると思います。

以上でございます。

田代町長 私の考え方と教育長の考え方は、少しニュアンス的に違うところがあると思います。岬町は2町2村の合併した町であって、その2町2村のうち、合併当時村であった淡輪地区が、今は岬町で一番人口の多い地区になってきています。一方、当時から町で最も人口の多かった多奈川町が人口の少ない状況になっています。時代の流れの変化というのは大きく地域まで変えるとの思いがあるのですが、そのような中で地域は地域の文化をしっかりと育んで、それを担って継承していくという1つの地域意識、村意識というのがまだまだ根強いのではなかろうかと思っています。

そんな中で、地域の子供たちは地域で育てていく、地域の人たちの力で地域の学校を守ってもらおうという当時の私の考え方を披瀝させていただいて、少子化が進行する中、淡輪保育所、多奈川保育所、深日保育所がどうしても存続できない状況になってきましたので、空き教室が多かった多奈川小学校に保育所を併設したらどうかということで、多奈川地区の皆さんにご理解いただき、また小学校の先生や校長にもご理解をいただいて併設をさせていただきました。また、保幼少という言葉が先ほど出てましたけれども、保幼少一元化の中で進めたのが多奈川小学校と深日小学校になります。深日小学校も多奈川小学校と同様に空き教室が多い状況でございましたので、小学校内に保育所を併設しました。

しかし、少子化が続く中、どうしてもそれを食いとめることがなかなかできない、そんな中で地方創生事業で特に子育てに力を入れていこうということで、子育てには十分力入れております。今回の予算もまだはっきりは数字の上では出ておりませんが、医療費の問題では、医療費の無償化を現在の中学校卒業までから高校卒業まで、18歳まで拡充していこうと考えておまして、そういう意味で地域の学校を守っていきたいと考えております。では、今後さらに減少したらどうするのかということになると、もちろん教育委員会さんや地域の皆さん、保護者の皆さんとも相談をしなければならないと私は思っています。そのような中では区域外の議論が出てくるのではないかなと思います。

まず、もともと多奈川小学校の場合は、ナショナル住宅、今の緑8区のほうから向こうが全て多奈川にありました。これは私見ですけども、例えば、みさき公園団地等の場合はもう深日へ入れていくなど地域のバランスをとりながら3校を守り、地域の活性化を考えないと、一極集中にしてしまった場合、じゃあどこへ中心にもっていくかとなるとみさ

き公園がその中心になってくる、ここ深日が一番中心になるわけで、町から言えば中心なんですけども、どこかに一極にもっていった場合は、そこから外れた地域は徐々に村、町が衰退をしてくる。これはやっぱり防いでいくというのがこれは町長の仕事でありますので、私はできるだけ岬町の町全体が、子供の数も含め、できるだけバランスよく均等のとれた町にしていくためには、区域外の議論をしながら学校の問題を解決していくものと考えます。

また、限界集落と言われております多奈川の西畑、東畑、淡輪畑、これらの地区については限界集落とまで言われることもあります。こういった地域には、道路整備などのインフラ整備に力を入れております。委員がおっしゃった1人というのは、子供さんが1人生まれたということを言われているのかもしれませんが、多奈川小学校への今年の入学者は22人ほどあると聞いております。よくご存じの委員もいるかと思いますが、いまだかつて22人もの入学者はなかったのではないかと思います。人数の増減はあると思いますが、できるだけバランスよくいくには、区域外のようなことを考える必要があると思います。

このような議論の中で難しいのは、区域外をした場合に、お子さんが複数いる場合に、一方は淡輪小学校に行くが、もう一方は深日小学校に行く、また、一方は深日小学校に行くが、もう一方は多奈川小学校に行くというようなことが、起こり得ます。したがって、保護者の皆さんの意見を聞きながら議論していくべきかなと思います。しかし、このような取組は、教育委員会からそういった提案が出てきてから進めていくべきと思っています。先程、委員のほうからご質問ありましたので、私の考え方の一端を少し述べさせていただきます。

今後も、真剣に考えていかなければならない課題であると思っています。

出射教育委員 私も小学校3校、中学校1校、これを守りたいなとずっと思っています。そのためには、教育委員会も今後、ハード面とかエアコンとかいろんな保育所入れてくれたりとかいうので完成すると思うんですけど、あとは内側ですね。どういうふうな教育をしていくかが大事やと思います。外からも来てくれる教育というか、興味・関心持ってくれる教育を今後何か考えていかんとあかんと思いますし、現実問題中学校も空き教室がたくさん出てきてるので、今後、どう小学校と共有して使っていくかとか、統廃合やなしにどう使っていくかとか、新しい教育をどうしていくかというふうに考えていかんところへもう来ると思うんですわ。

だから、芝生を学校に入れたり保育所入れたりした、これ先進的なことで、府教委も感

心してるとか文科省もすごいことやと思って、あとは、内的なことを内側からどう教育をしていくか、岬町はすごいことやと、こんな教育を進めてるんやと、どういう教育をしていくんやということを教育委員会だけでは、僕はもうちょっとしんどいところ来てると思うんですわ。

だから、各部局の方お忙しいと思うんですけども、町全体で考えて町長さんと一緒に考えて、どうしていくかということ、さっき校区のあれもあるんですけども、それも含めているんなことを文科省と折衝したり府教委と折衝したり、泉佐野の大木小学校なんかやったら校区撤廃して自由を試してみたりとか、そういう資料も集めてどういう方法が一番えのかということのを全体で考えて、僕はやっていかんとあかんとこへ来てるし、そういう教育したら外からも来てくれると思うんですわ。岬町ってこういう教育してるんやとか、そういうような方向性を出していくために、お願いというんか、またそういうことが表現できるのであれば町長お願いして、各種部局と一緒に相談させてもらえると、プロジェクトチームでも立ち上げてみたいなどは思ってるんですけども、よろしく願いいたします。

田代町長 ここ数年の予算を見ていただいたらおわかりになっていただけると思うんですが、教育予算にはかなり重点を置いて措置しております。学校の空調の問題についても多額の予算を使うのに財政部局との間でけんけんがくがくの議論を行いながら、また国とも調整し、設置することができました。また、空調設置後に猛暑に見舞われたため、子供たちに喜んでいただいたのかなという状況はありますが、まず、環境整備を頑張っていこうと思っています。また、教育部門の中では教育委員が中心となり、学校と一緒にスクラムを組んでいただき、また保護者の皆さんとも連携とってもらおうということが一番大事だと思います。

ただ、委員のお話にもあったように、岬町がこういったものに分野の教育が強いという、強みのある教育が求められているというのは、私も感じる時があります。例えば、体育で言えば、岬町の子どもたちは今スポーツ関係で相当全国大会に出場している。また一般の方でも太極拳の全国大会に出場されており、そういったことはいまだかつてなかったと思います。岬町の子どもたちの体力が向上し、全国レベルの大会に出場することは、大阪府の南の端といえども岬町の生徒、学校が世に出てきたのかなと理解しておりますし、そういったことをすぐに町民の皆さんに知らせるために、役場に横断幕を設置しています。このような取組は、行政と教育、また保護者、つまり住民も一緒になってやらないとできないのではないかと考えていますので、できるだけ委員のおっしゃるように、岬町の学校はこれと言われる強みが1つでもできたらいいのになと思うんです。そのためには、

一生懸命行政としてやるべきことはやっていきたいと思います。

ほかにございませんでしょうか。

では、ないようですので、引き続き、案件2から4まで一括して事務局から説明をお願いいたします。

寺田企画地方創生課長 それでは、案件2の平成30年度全国学力・学習状況調査からみる小・中学校別状況と今後の施策について、それと案件3、平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果からみる成果と課題について、案件4、平成29年度児童生徒の生徒指導上の諸課題に関する調査報告について、一括して報告させていただきます。

ただし、案件5につきましても内容について個人の情報を含むため、要綱第6条に基づき個人の秘密を保つため必要があると認めるときは、非公開とすることができることと規定をしておりますので、以後の報告につきましては、非公開とさせていただきます。

※岬町総合教育会議設置要綱第6条に基づき、個人の秘密を保つため必要があると認められることから非公開、同7条に基づき議事録の一部を公表しない。

(非公開)

これで、本日のスケジュールは、もう全て終了しましたので、事務局のほうにあとはお願いしたいと思います。

事務局どうぞ。

西総務部長 町長、済みません。1点目の質疑の中で、給食費の件の話ありましたので、報告させていただきますと思います。

給食費用の件で財政課に確認してまいりましたが、来年度の予算要求に際しましては、給食材料費の不足の話はなかったと聞いております。

田代町長 ないでしょう。

西総務部長 調理に必要な燃料費等について、町が負担する分ですが、これについては要求どおりの予算措置をさせていただいております。

また、設備の更新については、町長が現場の確認をいただいております、厳しい財政の中で必要な予算措置を行うべく調整を進めていると聞いております。

食材費については、保護者負担となっておりますので、給食代についてはまた教育委員会で議論いただくべき内容と認識しておりますが、町長部局といたしましては、給食に関

する予算については適切に予算措置をさせていただけることを御報告させていただきます。

田代町長 今、総務部長から先ほどの案件についての説明がございました。これについて、何か御質問ございませんか。

総務部長の説明のとおりですね、給食の賄い料についてのそういった予算の要求はなかったということが財政のほうから出ましたので、今後、その必要があれば、また担当のほうから財政と調整をしていただきたいというふうに思います。

では、事務局のほうでお願いします。

事務局 それでは、今後のスケジュールについて、御説明いたします。

今後は、岬町総合教育会議設置要綱で規定する協議事項ができましたら、また会議を開催することとなります。協議事項としては、予算措置を伴う重要な教育施策の方向性の協議や児童とか生徒等の生命、身体に被害が生じ、そのおそれがあると見込まれる緊急事態への対処の事項等がございます。

現時点では、議会開催については、今年度は予定しておりません。また、協議すべき事項があるときは適宜会議を開催したいと考えております。

また、本日の会議の議事録につきましては、公開することとなります。議事録ができ次第、委員の皆様にも御確認をいただきますので、よろしく願いいたします。

以上になります。

田代町長 ちょっと訂正をさせていただきます。

先ほど、私、案件のことをスケジュールと言ってしまって大変申しわけないです。これは案件であります。そして、スケジュールはただいま事務局のほうから説明のあったとおりでございますが、この件について何か御質問、御意見ございませんか。

ありがとうございます。

ないようですので、本日、これで会議を締めたいと思います。

本日は貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。今後は総合教育会議の中で皆様方からの御意見、提言を踏まえて、施策の展開を図っていくこととしております。

本日はどうもありがとうございました。

これもちまして、平成30年度第1回岬町総合教育会議を閉会させていただきます。委員の皆様には、慎重審議賜り、まことにありがとうございました。どうもありがとうございました。

(午後 0時2分 閉会)